

## 2013 年度第 1 回 地球惑星科学連合、環境・災害対応委員会 議事録

日時：2013 年 5 月 21 日 13:00～14:00

場所：幕張メッセ 101A

出席者：松本 淳（委員長）、青木賢人（日本地理学会：代理・書記）、中村 尚・石原正仁（日本気象学会）、小田啓邦・吉川顕正（地球電磁気・地球惑星圏学会）、松島 大・真木雅之（水文・水資源学会）、吾妻 崇（日本活断層学会・日本第四紀学会）、大塚康範（日本応用地質学会）、石峯康浩（日本火山学会）、柳澤教雄（日本地熱学会）、小荒井 衛（日本地質学会）（計 13 名）

### 1. 前回議事録の承認

原案どおり承認された。

### 2. 2012 年度後半の活動報告

出席委員から、各学協会の取り組みについて、配布資料等にもとづき、下記の報告がなされた。委員欠席の一部学協会についても、松本委員長から配布資料に基づき紹介がなされた。

- ・日本地質学会：災害対応委員会 情報は HP で公開  
浜松の地すべりの情報公開 笹子トンネル事故についても公開  
次回大会：東北大 9 月 東日本大震災セッション
- ・水文・水資源学会：大きな取り組みはなし  
次回大会：関連セッションも追って報告
- ・日本火山学会：防災委員会  
12 年度 5 月シンポジウム 10 月火山防災シンポジウム（長野県御代田町）  
13 年度 5 月シンポジウム 7 月 IAVCE@鹿児島にて国際ワークショップ開催  
7 月ハザードマップ集の出版 10 月猪苗代町火山防災シンポジウム
- ・日本地熱学会：地熱開発に関するタウンフォーラム@福島
- ・日本気象学会  
環境：一般向け解説書 第一原発事故に関して 夏終わりには朝倉から刊行  
第一原発事故に対する学会の意見表明の準備を進めている  
学術会議での対応に学会員がコミット  
温暖化に関して 東大出版会から 年明けの IPCC5 に合わせて刊行  
秋 東北大で大会  
災害：北関東の竜巻、九州北部豪雨の研究会・報告会  
JpGU でのセッション
- ・地球電磁気・地球惑星圏学会：スペースウェザーのセッション。宇宙利用に関する提言書の作成  
IPS 東日本大震災特集号 昨年 12 月出版 オープンアクセス  
電磁気の論文が含まれている  
新燃岳噴火についても特集号の予定

- ・日本活断層学会：淡路島地震の情報公開  
シンポジウム，見学会，フォトコンテストなどを実施  
活断層の認定基準の検討会を設ける予定
- ・日本応用地質学会：10月共同提案・行動指針公表  
11月研究発表会  
11月学術会議 30学会からの総括フォーラム  
5月市民フォーラム@横浜 開催  
6月原子力廃棄物・放射能汚染関係のシンポジウム  
「研究教育部門・研究部会」を新設．学会としてのストラテジーを作る．
- ・日本第四紀学会：8月津波堆積物，海成段丘の現地観察会  
INQUA 2015年日本@名古屋で開催 共催・後援・協賛などの願い
- ・日本地理学会：昨年9月神戸・3月立正大で大会開催  
8月IGU京都会議、9月福島でシンポジウム開催
- ・連合：オープンアクセスの電子ジャーナル刊行のための科研費採択（今年度より5年間）．  
約2割をインバイトのレビュー，8割を一般論文とする予定．  
タイトルはProgress in Earth and Planetary Science 今秋から論文募集，来年度早々に刊行開始の予定．積極的な投稿を．

### 3. 今後の予定

来年はAOGS@北海道が7/27～8/2に開催

JpGUはパシフィコ横浜で開催 4/28～5/2

国際セッションはAOGSとの重複の懸念があるが，例年通りの2割程度の開催を期待．

再来年は幕張．その次は再度パシフィコの可能性があるが未定．

### 4. その他

- ・日本活断層学会，日本第四紀学会，日本地質学会の各学会から、原子力発電の活断層認定委員を推薦．
- ・JpGUに来ている理学系と，来ていない工学系との接点を模索する必要性
- ・次回 9月下旬～10月上旬頃の開催予定